

令和4年 厚生文教委員会 委員派遣報告書

会 派 名	厚生文教委員会
議 員 名	杉谷 辰次, 住田 誠, 角広 寛, 高原 伸一, 宮垣 秀正 政平 智春, 中重 伸夫, 寺田 元子
議員派遣先名	三菱重工業株式会社 (三原市糸崎南一丁目)

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
合 計		0 円

1 三原市での課題と派遣の目的 (本市の現状と課題を明確に)

本市のごみの総排出量は、広島県平均よりも多く、中でも事業系ごみは県内 23 市町中、3 番目に多いことから、事業系ごみの減量化は喫緊の課題である。 そこで、廃棄物の減量化に取り組んでおられる三菱重工業 (株) 三原製作所の取り組みを視察することとした。
--

2 実施概要 (1カ所目)

実 施 日 時	派 遣 先	三菱重工業株式会社 (三原市糸崎南一丁目)
令和4年5月27日 10:00~12:00	担 当 部 局	・三菱重工業 (株) 三原ビジネスパートナーグループ 総務チーム ・三菱重工機械システム (株) 印刷紙工機械事業部 事業管理部 業務課
報 告 内 容 ・ 所 感	(報告内容) 視察では、主に①ごみの分別と減量化の取り組みについて ②生ごみを減量化するための取り組みについて ③紙ごみの分別や処分方法について、三菱重工業 (株) 三原製作所が取り組まれている内容の概要説明を受けた。その後、工場内に設置してある廃棄物集積場等の現場視察を行った。 ①では、分別の徹底や減量化の取り組みを始めた背景や取り組みによる効果について伺った。環境負荷の低減のため、「紙・ごみ・電気」の削減に取り組み、製品のコスト低減や処分費の削減を実現されており、廃棄物の減量化は製品の	

	コスト減につながるなど、減量化のメリットを知ることができた。 廃棄物の減量化については、資材等の在庫管理により必要な量の購入や種類の分別を徹底し、可能な限り再利用・再資源化するなど、様々な取り組みがされていた。 分別の周知については、分かりやすい廃棄物の分別例を作成し、廃棄物の集積場には品目ごとに容器を備えて分別しやすい環境づくりに努められていた。 また、集積場への廃棄物の搬入については、廃棄時間を設置し、その時間に担当部署が立ち会うことで分別間違いを防ぐ取り組みがされていた。 ②については、食堂において、過去の実績をもとに必要数量を予測し調理することで過剰調理を防ぎ、食品ロスの削減に取り組まれていた。 ③については、紙類やシュレッダー屑、段ボール等それぞれ分別し、可能な限りリサイクルされていた。 会社をあげて排出抑制、適正な分別、再資源化に取り組まれるなど、減量化の取り組みは多岐に渡っていた。 社会的責任を強く意識している企業の姿勢や取り組み内容など、今後の当委員会の政策提案に活かしていきたい。
市政に活かせること（まとめ）	ごみの減量化に対する考え方や実際の取り組みは、他の事業所において減量化を進めるうえで参考にできることが多く、このような優良事例や減量化によるメリットを広く周知することで、ごみの減量化を進めることができると感じた。 減量化を進めるためには、市民・事業者の一人一人のごみの減量化に対する理解と協力が不可欠であり、そのためには行政が減量化について広報・啓発すること、そして分別や再資源化しやすい環境づくりに努める必要があると感じた。